

# JR南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する協定の締結について

資料

## 背景・経緯

- 平成26年3月～ JR東日本と川崎市において、地域と鉄道の持続的発展に向け勉強会を開始
- 平成27年1月 両者において、包括連携協定を締結  
(JR東日本が自治体との間で締結する初の包括的な連携協定)  
南武支線新駅設置に関する調査及び検討に着手
- 平成27年7月 検討状況に関する報告会を実施

## 新駅設置の目的・基本的な考え方・効果等

目的	・人口が急増している小田栄地区等の利便性を向上し、まちづくりに寄与する。
基本的な考え方	・既存鉄道ストックを最大限に活用した簡易な構造の駅を、短工期で整備することにより、早期に事業効果を発現する。 ・JR東日本と地方自治体が連携により具体化を図る「戦略的新駅」として、両者が協働して取り組む。
効果等	・小田栄地区から新宿等に向かう際、時間短縮効果及び費用削減効果を見込む。 ・定着時の利用者は乗降者数で約3,500人/日を想定する。

## 協定の内容

協定の概要	事業に関する基本的事項である、概ねの位置、内容、費用負担や利用促進の考え方などについて、合意する。
新駅設置位置	川崎区小田栄 (南武支線川崎新町・浜川崎駅間)
駅施設内容	ホーム及びホーム上家、スロープ、簡易 Suica 読取機 等
費用負担	両者で折半負担を基本とする。(参考：本市の今年度予算額は2.75億円)
開業時期	平成28年3月(目標)
その他	南武支線の利便性や快適性の向上を目指し、両者で利用促進のための施策に取り組む。

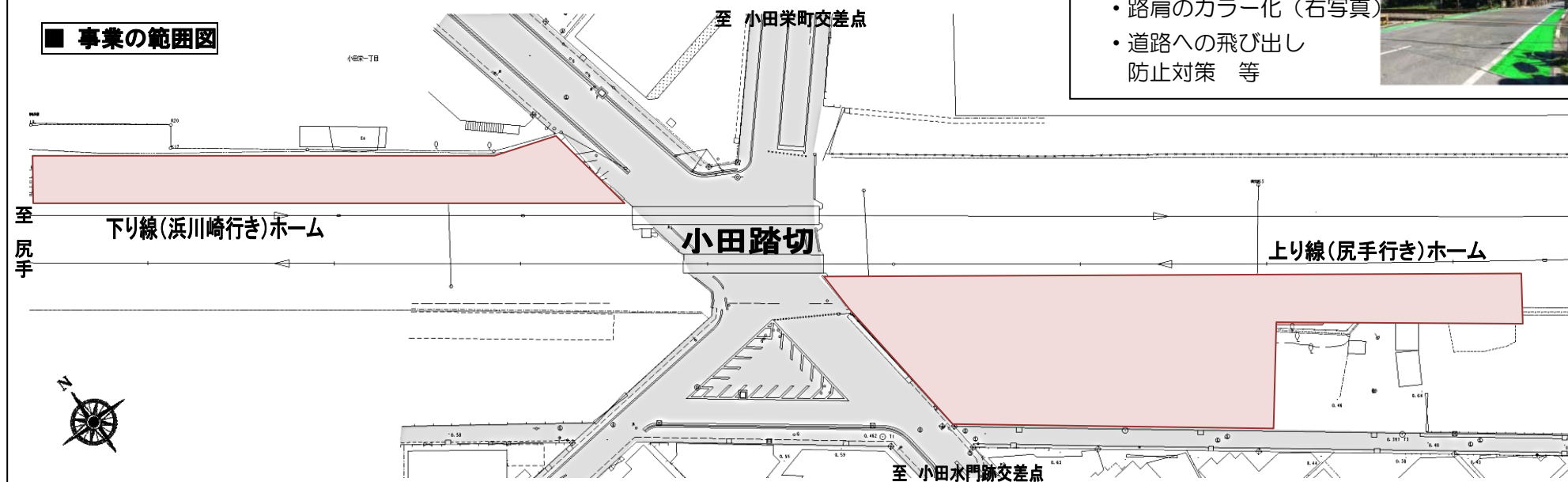
■交通安全対策について、交通管理者と協議中。

交通安全対策の例)

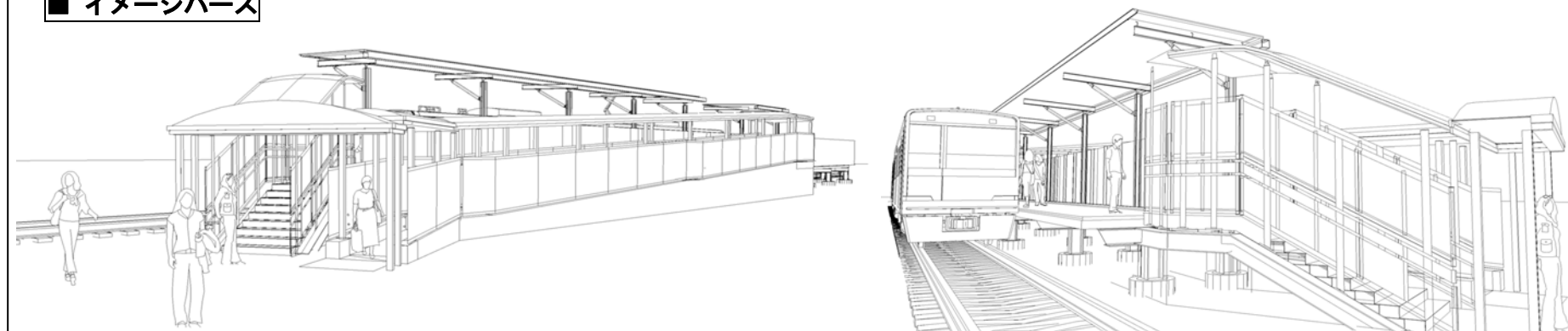
- ・路肩のカラー化(右写真)
- ・道路への飛び出し防止対策等



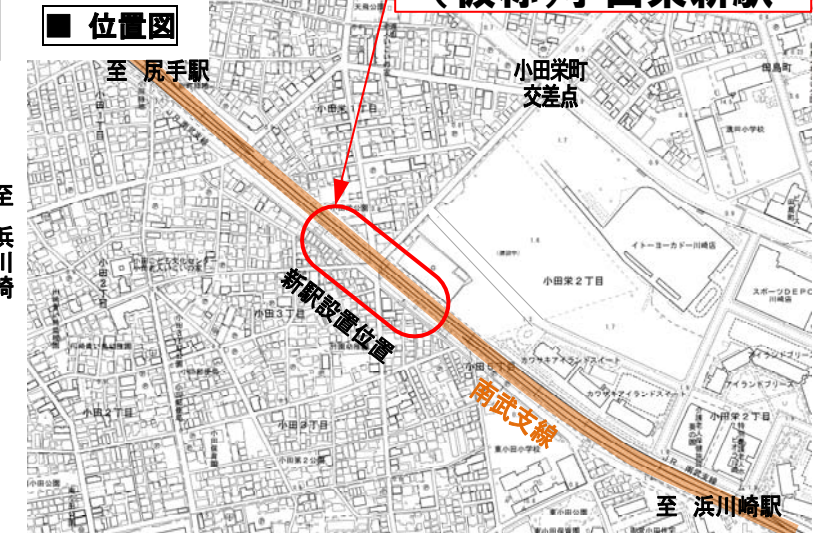
## 事業の範囲図



## イメージパース



—JR南武支線—  
(仮称)小田栄新駅



※下図は、川崎市の承認を得て同市発行の都市計画図を複製したものです。  
承認番号(川崎市指令ま計第62号)

## 今後の予定

- 平成27年 8月: 駅名投票の取組
- 平成27年 秋頃: 鉄道事業法に基づく国の認可後に施行協定を締結し、工事説明会を開催
- 平成28年 3月: 開業目標
- 平成28年 3月以降: 南武支線の利便性や快適性の更なる向上のために利用促進を実施